



議会だより



大空に夢きらめく水しぶき

6月定例会 2～3 ページ

一般質問 4～5 ページ

管外視察(ペレットストーブ) .. 6 ページ

管外視察(カスミソウ栽培) 7 ページ

村民の声 8 ページ

発行 ... 新潟県関川村議会

〒959-3292

新潟県岩船郡関川村大字下関912番地

TEL 0254-64-1494 FAX 0254-64-3006

責任者 ... 議長 近 良平

編集 ... 議会広報対策特別委員会

委員長 ... 渡辺 健作

副委員長 ... 渡辺 秀雄

委員 ... 平田ゆかり・須貝 謙一
津野 庄衛・高橋 八男

村のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

URL <http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

平成20年度 6月定例会

平成20年第4回議会定例会が6月12日から19日までの会期で開催されました。
 初日は4名の議員が一般質問を行い、村長の考えをいただきました。
 会期中に審議された案件は、報告案件3件、承認案件18件、条例の一部改正案件4件、
 辺地に係る総合整備計画の変更案件2件、補正予算案件5件で、いずれも原案どおり承認・可決しました。
 また、請願・陳情は7件中6件を採択し、関係機関に意見書を送付することにしました。

平成20年度各会計補正予算

一般会計	7,130万円	追加
国民健康保険事業特別会計	82万円	追加
国民健康保険関川診療所特別会計	800万円	減額
介護保険事業特別会計	329万円	追加
公共下水道事業特別会計	377万円	減額

すべて第1号補正予算

平成二十年度 各会計補正予算

一般会計補正予算

(一部抜粋)

- 総務費 八三万八千円
- ブロードバンド空白地域解消事業補助金など 民生費
- 二一七三万五千元 大島・女川保育園遊具設置工事請負費など 衛生費
- 四一五万五千元 村指定ごみ袋印刷製本費など
- 農林水産業費 三五四万円
- 新潟県農林水産業総合振興事業補助金など 商工労働費
- 二八八万九千円 関川村観光協会補助金など
- 教育費 五四〇六万六千円
- 統合小学校建設事業工事請負費など

条例の

一部を改正

村営住宅管理条例の一部を改正する条例
 村営特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例
 村有住宅条例の一部を改正する条例

(一部抜粋)

入居者または同居者が暴力団関係者と認められた場合、条例にもとづき、村は退去などの勧告を行うことができます。

村と警察が協力して村営住宅に暴力団が入居することを防止します。



NO! 暴力団



Q&A

Q 関小学校前にある関川分校の碑は今後どうなるのか？

A 現存させます。

Q 村営住宅の入居希望者が暴力団と関係あるかはどのように審査し判断するのか？

A これから入居を希望する場合は警察に照会を行います。現在入居している方は不法行為や通報があった場合、警察に照会します。

Q ブロードバンド空白地域解消事業補助金の内容は？

A 交換局から距離が遠くてインターネットができない地域を解消するための事業への補助金です。事業の負担割合は県6分の3、村6分の1、事業者6分の2です。

Q ブロードバンド空白地域解消事業の事業者は？

A 通信事業者の手あげ方式で、提案内容によって県と村が協議して決定します。

Q 米政策改革推進協議会等活動支援補助金の内容は？

A 生産調整の補助金で、JAが事務局をしている関川村水田農業推進協議会へ補助するものです。事業費の負担割合は県4分の2、村4分の1、JA4分の1です。

Q 関川村観光協会補助金の内容は？

A 二人乗りカヌー5台を購入する分の補助金です。

このQ & Aは常任委員会で行われた質疑応答の内容を抜粋しています。

などを求める。
 材産業の振興施策の推進と
 森林所有者の負担軽減措置
 による森林経営意欲の創出
 保するとともに、林業・木
 材産業の振興施策の推進と
 森林所有者の負担軽減措置
 による森林経営意欲の創出
 などを求める。

願
 育予算の充実を求める請
 願
 三十人以下学級の実施等
 「義務標準法」の改正のほ
 が、弾力的な教職員に加
 配、義務教育国庫負担制度
 を堅持し、国の負担割合の
 増を求める。
 国による公的森林整備の
 推進と国有林野事業の健
 全化を求める陳情
 森林吸収源対策を推進す
 るため、安定的な財源を確
 保するとともに、林業・木
 材産業の振興施策の推進と
 森林所有者の負担軽減措置
 による森林経営意欲の創出
 などを求める。

へき地級地見直しに関す
 る請願
 へき地の級地を見直し、
 へき地教育の振興と機会均
 等を保障する見直しを行う
 ことを求める。
 三十人以下学級の実現、
 義務教育費国庫負担制度
 の堅持をはじめとする教
 育予算の充実を求める請
 願

請願・陳情
 6件を採択

ミニマムアクセス米の輸
 入停止を求める陳情
 ミニマムアクセス米の輸
 入を一時中止し、制度の見
 直しをWTO交渉の場で働
 きかけることを求める。
 過剰な農薬取締法により、
 植物からなる、農業用有
 機資材を締め出す不法な
 行政指導の改善を求める
 意見書提出に関する陳情
 適正な法律に基づかない
 許認可権行使や行政指導を
 改め、有機栽培適合確認資
 材の許認可緩和を早急に実
 施することなどを求める。
 「非核日本宣言」を求め
 る意見書採択についての
 陳情
 国が「核兵器廃絶の提
 唱・促進」と「非核三原則
 の厳守」をあらためて宣言
 し、核兵器のない世界を呼
 びかけるよう求める。

「ふるさと納税制度」の取り組みについて

広く呼びかけたいので協力してもらいたい



津野 庄衛 議員

全国学力調査結果の分析について

学力向上となるよう現状を把握・分析して指導する

議員 五月から始まった「ふるさと納税制度」。これは個人で都道府県や市町村に五千元を超える寄付をした場合、その超えた部分について、一定の限度額までは個人住民税から控除できるというもの。

村は、これまでに村人会やいで湯の関川ふるさと会の会員との交流のほか、さいたま市等の都市部とも交流を深めているが、村発展のためにこうした方々にもこの制度を利用して協力してもらいたい。村長はどのように考えているのか？

村長 基金条例の一部を改正し、寄付金の受け皿はすでにできています。現在は寄付を呼びかけるための要綱や振込用紙の作成など、詰めの作業をしています。

村人会やふるさと会の皆様には手紙等でお願ひし、ほかの交流先にはイベントなどを通して広く皆さんへ呼びかけます。

村は寄付された方の意志がきちんと反映できるような仕組みとなるよう対応してまいりたいと考えていますので、ご協力をお願いします。



ます。

議員 全国学力調査の結果が公表されたが、村はこの結果をどのように分析しているのか？

教育長 対象は小学校六年生と中学校三年生で、科目は国語・算数(数学)の二科目です。

小学校は国語・算数ともに基礎学力が県や全国平均より若干上回っていますが、応用学力は下回っています。中学校は国語は基礎・応用学力とも平均を上回っていますが、数学は基礎・応用学力ともに若干下回っています。これらは家庭学習の不足等が指摘されています。結果については地域によって差が開く可能性もあるので、現状をさらに分析して学力が向上するよう指導してまいります。

道の駅周辺再整備事業について

事業費総額 2億6648万円

イベント広場は各種団体に広く活用してもらいたい



渡辺 健作 議員

議員 道の駅周辺再整備事業は、平成十六年度に計画を策定し、十七年度より工事が着工され、桂館周辺の塀の撤去、自然環境管理公社の車庫とあいさい市の移設、駐車場の整備、ちぐらの新設等を実施し、二十年度で完了予定だが、次の五点について伺う。

事業実施にかかった費用の総額

補助金、村債等の財源内訳

事業実施前後のゆくむ入館者数の比較

イベント広場の活用

経済効果の予想

村長 事業費総額は二億六千六百四十八万円。補助金四千六百六十二万円、過疎債一億九千五百五十万円(償還金の七〇%は地方交付税で措置)、一般財源二千四百三十六万円。

ゆくむ客数の変化は今のところ見られません。

イベント広場の活用は村としては特にありませんが、各種団体のイベントに活用してもらいたいと考えています。

経済の波及効果とし

て、ちぐらの入り込み客数が大幅に伸びています。今後は道の駅施設と旧米沢街道の連携を促進して、経済効果を高めていきたいと考えています。

議員 各集落から寄付された木の移植先は？

村長 歴史とみちの館裏の竹林に移植し、集落の森としています。



再整備されたゆくむ周辺



渡辺 秀雄 議員

岩船産コシヒカリのPR活動強化について

村の農業振興のために関係団体と連携していきたい

ちぐら、あいさい市の無休化について

通年販売に向けて利用組合にお願いしていきたい

議員 岩船産コシヒカリは日本穀物検定協会が発表した食味ランキングで十八年産米から二年連続で最高位の「特A」に認定され高い評価を得ているが、米の需要を増やし米価を向上させて農家の収入増となるようなPR活動や販売強化のために村は農協とどのような連携をとっているのか？

また、岩船産米の知名度を上げるにはマスコミの活用が必要ではないか？

村長 昨年度からは「Aいわふね米生産対策協議会等の主催で「いわふね米のキャンペーン」を実施しており、その一つとして岩船村上管内の旅館やホテルなどとタイアップして、宿泊客への宣伝や意見聴取を行い、抽選で米のプレゼントを行っています。

また、卸業者との「求評会」を開催して、卸業者の意見を生産者に伝えるよう指導しており、現在は化学肥料等を従来比から三割減らす取り組みをしています。消費者に安全安心であることを理解してもらうことが大切だと考えていま

す。

村の行事にはマスコミも取材に来ていますので、機会あることに主張していきたい。

議員 ちぐら・あいさい市の年中無休で活気ある道の駅、観光施設にできないか。

村長 ちぐらは期待どおりの来客数になっていますが、あいさい市はまだ十分です。定休日が毎週火・木曜日で冬期間は休業しているのが現状です。

近隣の直売施設は商品が豊富で営業時間も長くお客様のニーズに合わせて売り上げを伸ばしていることから、利用組合と頻繁に打ち合わせをして、通年販売に向けて今後ともお願いしていきたいと考えています。



平田ゆかり 議員

「働かない・働けない」非自立者の支援・対策について

村の自立・協働に向けた、経済・知的財産・マンパワーの確保を。当事者・家族の経済的・精神的自立に向けて村独自の取り組みを。

村でも実状把握しながら努力を続けていきたい

議員 「働かない・働けない」非自立者を村はどのように受け止めているのか。

村長 ニートと呼ばれる若者たちの中には発達障害が多く含まれるため、解決は難しいと感じています。

議員 発達障害は一部分。様々な状況の人たちがいると認識してもらいたい。

議員 村内における就労可能な十五歳～五十歳までの未就労者の人数・家族構成・経済状況は？

村長 把握していません。プライベートなことなので調査しきれない問題があります。

議員 将来的には、家族形成が困難などの問題が出てくるため、いま数字を出す必要がある。保健師によって調査できないか。

村長 実状を把握できる鍵を握っているのです。それも一つの手段であると考えています。

議員 現在村には相談窓口はあるのか？今後、住民とどのような連携で支援を行うか？

村長 窓口は設けていません。支援や連携について

は村上地域サポートステーションに期待しています。

議員 相談機関が遠い、相談が苦手という住民意識を考慮し、家庭訪問で家族や当事者に寄り添う形で支援をスタートしてほしい。

議員 子どもたちの就労への意欲を高めるための教育方針・取り組みは？

村長 就労意欲を主体としている教育はないので、子どもの時から一貫した教育のなかでそれが可能であれば幸いと考えています。

議員 ニート・ひきこもりは男性が多い。背景に男が働き家庭を守るべきという固定されたジェンダー問題がある。男性の責任感に対する恐怖心は小さいころからのジェンダー教育で直してゆくべき。若者と交流してきた村長の経験を生かし、若者を村の人材と考え、特色ある支援方法と対策を考えてほしい。

村長 伝統的な風習のなかからこうしたバランスになっっています。今後は、指摘された方向に沿うように検討、努力を続けていきたいと思います。

研修報告

総務厚生常任委員会

平成20年7月2日

福島県西会津町・若松第一高等学校

地球にやさしいペレットストーブ

西会津町要の概

福島県の北西部に位置し、周囲は東に喜多方市・会津坂下町、南に柳津町・金山町、北西部には新潟県阿賀町と接している。町の中央部を国道四九号線が東西に横断し、その南側には磐越自動車道がある。

人口は八千三百七十九人、世帯数は二千九百一十世帯で、町の総面積二九八・一三km²の八六%ある広大な林野からは良質の桐・杉を産出している。

「百歳への挑戦」をスロ―ガンに保健・医療・福祉のトータルケアとともに、健康で安心して暮らせる町づくりを推進している。

西会津町 公民館

導入の経緯

福島県がペレットストーブモニター事業として、平成十六年六月に木質バイオマスのエネルギー利用を広く周知するために県内市町村へ呼びかけた。県の備品を市町村が借りる形で設置

し、モニター期間終了後は導入市町村へ無償譲渡されるという事業で、平成二十二年四月までモニター期間として試験導入をしているところである。

規模

五十一畳の部屋に二十畳用を一台導入。燃料十kgで五時間(火力大)から十五時間(火力小)燃焼が可能。

私立若松第一高等学校

大正十二年、女学校として設立。昭和三十四年に男子部が設置された伝統校で

ある。

導入の経緯

学校では環境問題に積極的に取り組んでおり、節電、生徒によるごみの分別、省エネルギー車の開発などを行っている。ワールドソーラーカーレースに参加するなど、学校をあげて省エネルギーや環境問題に積極的に取り組んでおり、ペレットストーブは生徒が森林環境問題に取り組む機会をつくるため、昨シーズンから導入した。費用は、県の森林環境交付金制度を利用して一台四十万円の交付金で



実施することができた。

規模

各教室等に二十二台導入。燃料は教室で一日十五kgほど、教務室で二十kgほど使用。

デメリット・メリット

・ 灯油と同じ熱量を得るための経費が安価であり温室効果ガスを大幅に削減できる。

・ 遠赤外線効果で離れても寒くない。
・ 少量の燃料で部屋の温度を確保できる。
・ 暖炉のようで見ただ目にも温かみを感じる。

デメリット

・ 燃焼が安定し、部屋が暖まるまで時間がかかる。
・ 設置費が石油ストーブより高額。
・ 灰の撤去に手間がかかる。
・ 消火後の安全が確認できるまで時間がかかる。



燃料となるペレット

まとめ

主要国首脳会議(北海道洞爺湖サミット)の最大の

焦点、温暖化対策で温室効果ガス半減を二〇五〇年に設定、長期目標としているが、温暖化による自然災害が世界各地で頻発している現状を考えると、地球にやさしい取組みを一人一人が

できることから着実に進めて行くことが大切である。

当村の小学校もあと三年足らずで新しい校舎に生まれ変わる。環境に配慮した校舎づくりなど、地球環境にやさしい村として全国に発信できるよう、村民みんなで真剣に考えていきたい。

産業建設常任委員会

平成20年7月3日

福島県昭和村

先進地視察

宿根カスミソウ栽培

昭和村の概要

福島県の南西部に位置し、人口は千六百人余り、高齢化率が五十%を超える、高齢化率県内一の村である。

耕地は標高四百〜八百mに広がっており、冬期間は積雪が多く、日本海性の気候を有しており、夏季は冷涼で主たる耕作地は平均気温二十二度、最高気温二十七・四度、最低気温十五・五度と日較差が大きく、七月〜九月の平均降水量は五百十ミリと少なめで、これらの気象条件が夏秋期の宿根カスミソウ栽培に適してお



り、現在まで山地形成がなされてきた。近年の栽培戸数は約六十戸、栽培面積は約三十ヘクタールあり、年間約四百五十万本が出荷され、北海道を除く全国約四十の市場へ出荷している。

六月から十月の東京中央卸売市場におけるシェアの半分を占め、年間約四億円前後の販売額となっている。

平成十七年には「雪」を冷却源とした予冷庫、国内では初の開花機能を持ったオーブニングルーム(開花室)、花持ち試験室を供えた農林水産物集出荷貯蔵施設が稼働した。



宿低温管理

生産者は所有している保冷庫を利用し、調整作業を行っている。

集出荷貯蔵施設には二千ケースを収納できる予冷庫を備えているため、集荷後から出荷までの間も低温管理が行われている。

輸送時には、保冷車による直送体制をとることでコールドチェーンに努めている。

エコファーマの取得

花き生産においても、環境に配慮した生産や流通に対する認識が高まってきている。国内ではエコファーマはそのひとつである。

村の生産者は平成十八、十九年に全員が取得し、このような新たな生産方式の導入は、これまでの取り組みを見直す良い機会となり、生産者同士の活発な議論が展開され、カスミソウ栽培をさらに活性化させる原動力となっている。

まとめ

昭和村のカスミソウ栽培は導入から二十年が経過しており、生産者やJA、村などが一丸となった取り組みによって夏秋期を代表する産地へと発展を遂げた。

保冷施設を活用したコールドチェーンの形成、エコファーマへの取り組み、産地フェアを開催して売る努力を行うなど、カスミソウを通じて生産者やJA、村が一丸となった取り組みの姿勢は本村としても見習うべきことが多いと感じた。

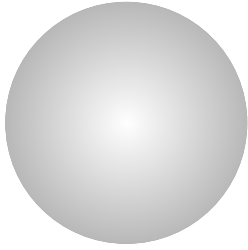


農林水産物集出荷貯蔵施設

葉タバコ栽培からの転換で機械やパイプハウスなどの施設をそのまま宿根カスミソウ栽培に使用することで初期投資を抑えることができた。昭和村の宿根カスミソウは高湿期でも奇形花が発生しにくく、市場でも評価を得た。生産は拡大し現在は村の農業粗生産額約七億円の半分以上を占め、水稲の約二億一千万円を上回る品目となっている。

村民の声

おい 「老後に向けて??」



たて の 野 かある 薫 さん
(上野)



ここ数年、物忘れが激しくなった。片付けをしてはどこへ片付けたか思い出せない。顔には見えがあるのに、名前がどうしても思い出せない。買ってあるものと同じ文庫本をもう一度買って来てしまう。クイズ番組を見ていても、答えがのどもとまで出掛かっているのに出てこない。もしやアルツハイマーでは?と心配になるほどであるが、同年代の人達に聞いてみたところ、多少の差はあるものの、同じような経験があるよつだ!、「大丈夫。大丈夫。」

思えば美家の母もずいぶん物忘れが激しい人で、子供の頃は母の物忘れには笑ったり、怒ったりしていたものだった。そうだ、私は元来忘れん坊の家系なのかもしれない。そう言えば、以前は地獄耳と言われるほどに周りの話し声が耳に入っていたのに、今はあまり気付かなくなつたし、筋肉痛は一日間を置いてやってくる。年相応なのかもしれないが、ひたひたと着実に老化はやって来ているようだ。

人間の平均寿命からすれば人生の折り返し地点をやつと過ぎたところだろうが、定年まで働き続けて、更に老後をエンジョイしようと思えば道はまだ遠い。いまの七十から九十歳代の方々のお元氣なことに驚かされる。自分がその年齢に至つた時に、あのようにならぬように頭も体も元氣でいられるだろうか。

そろそろ生き方を見直す時期なのかと思う。今まで無計画に全力疾走でやってきたが、計画的にペース配分しないとならぬ。身体的にも精神的にもいつかオーバーヒートしてしまうだろう。色々な物を、更には脳ミソの中もきちんと順序立てて分別整理し見出しを付けておかなければ、必要なときに物や情報をすぐに出すことができなくなるだろう。

と思つてはいながらも、根が無計画でずぼらな性格である私は、なかなか変えることは出来ないでいる。とりあえず現状をしっかりと把握するために、来年は脳ドックを受けたいと思つている!

町村議会 広報研修会

五月二十八日新潟県自治会館において、県町村議会議長会主催の広報研修会が開催されました。当議会からも広報対策特別委員が参加しました。

研修内容は町村議会広報全国コンクール審査員も勤めておられます大塚昭彦氏から写真の撮り方・活かし方の講演と、聖籠町議会広報対策特別委員長の宮澤光子議員から議会広報の事例発表がありました。



議会だよりへの取り組み方や編集ポイントなどを学んできました。これからの編集に活かしたいと思ひます。

編集後記

六月定例会で補正予算のうち、四千八百九十万円が統合小学校建設事業費として可決され統合小学校建設に向けて動き出しました。

設計計画では暖房のエネルギーは石油となつておりますが、地球環境における温暖化防止、石油価格の高騰などを考えた場合、ペレットストーブも良いのでは

と考えます。ペレットとはダムからあがる流木、間伐材、雑木などを粉砕、圧縮、乾燥し粒形にしたストーブの燃料です。

管外視察にも報告しておりますが、環境にやさしいぬくもりのある教室で心穏やかに勉強し、優しい人に育つて欲しいと思ひます。

渡辺(健)